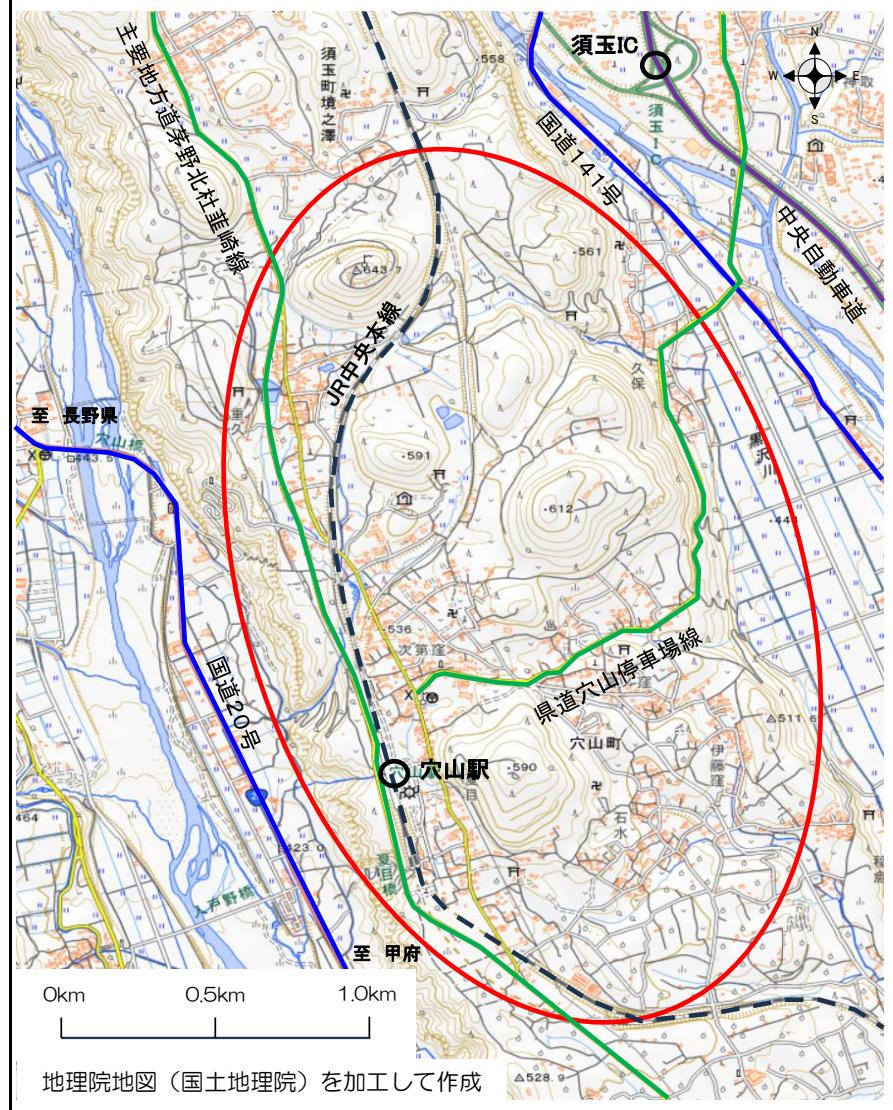


# 令和7年度 公共事業再評価調書

(区分) (国補) • 県単

## 1. 事業説明シート

事業名	農地整備事業 [畠地帯総合整備事業(国補)]	事業箇所	韮崎市穴山村	地区名	穴山	事業主体	山梨県																												
計画期間	当初計画 現計画		変更計画	④特記事項(関連事業概要等) なし																															
	H27~R6 H27~R8		H27~R10	⑤これまでの評価状況(平成27年度事前評価) 本事業は、ほ場整備を中心に、農業生産基盤を総合的に整備することで、担い手への分散した農地の集積や農作業の効率化を進め、農業経営の安定化が期待できる事業であり、実施が妥当である。																															
総事業費	2,100 百万円	2,554 百万円	2,046 百万円																																
<b>(1) 事業の概要</b>																																			
<b>①事業目的及び効果</b>																																			
本地区は、県北西部の釜無川左岸に位置し、桃を基幹作物とする農村地帯である。地区内の新府共選場から出荷するものは「新府のもも」と呼ばれ、県内外から好評を得ている。また、本地区は中央自動車道須玉ICに近いことから都市部からの来訪者も多く、季節には桃の花見や朝市等の交流も盛んに行われている。																																			
しかし、地区内は小区画で不整形な農地、未整備の農道や農業用水路などが多く、作業効率の低下や果樹品質の劣化を招くことから農業者の営農意欲の減退に繋がっている。																																			
一方、本地区に参入を希望する生産法人等も増加していることから、本事業による農地集積と併せ、農業生産基盤と生活基盤の整備を一体的に行うことにより、農業集落内の営農と生活環境の向上に繋がり、地域農業の継続と発展が図られるものである。																																			
<p>□主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 1,268千円/ha<math>\geq</math>810千円/ha※ (※評価基準値)</p> <p>□副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全</p>																																			
<b>②事業概要</b>																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現計画</th> <th></th> <th>変更計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用排水路</td> <td>L=3,470m</td> <td>→</td> <td>L=3,054m</td> </tr> <tr> <td>農業用ため池</td> <td>3箇所</td> <td>→</td> <td>3箇所</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td>L=1,880m</td> <td>→</td> <td>L=1,873m</td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>A=27.1ha</td> <td>→</td> <td>A=12.4ha</td> </tr> <tr> <td>農業集落排水路</td> <td>L=2,000m</td> <td>→</td> <td>L=1,622m</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td>—</td> <td>→</td> <td>L=2,300m</td> </tr> </tbody> </table>									現計画		変更計画	用排水路	L=3,470m	→	L=3,054m	農業用ため池	3箇所	→	3箇所	農道	L=1,880m	→	L=1,873m	区画整理	A=27.1ha	→	A=12.4ha	農業集落排水路	L=2,000m	→	L=1,622m	鳥獣害防止施設	—	→	L=2,300m
	現計画		変更計画																																
用排水路	L=3,470m	→	L=3,054m																																
農業用ため池	3箇所	→	3箇所																																
農道	L=1,880m	→	L=1,873m																																
区画整理	A=27.1ha	→	A=12.4ha																																
農業集落排水路	L=2,000m	→	L=1,622m																																
鳥獣害防止施設	—	→	L=2,300m																																
<b>③全体計画</b>																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度まで</th> <th>令和7年度 (評価実施年度)</th> <th>令和8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>用排水路 L=2,780m 農業用ため池 3箇所 農道 L=1,500m 区画整理 A=21.7ha 農業集落排水路 L=1,600m</td> <td>用排水路 L=340m 農道 L=180m 区画整理 A=2.7ha 農業集落排水路 L=200m</td> <td>用排水路 L=350m 農道 L=200m 区画整理 A=2.7ha 農業集落排水路 L=200m</td> </tr> <tr> <td>事業費 1,980 百万円</td> <td>220 百万円</td> <td>354 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>用排水路 L=1,095m 農業用ため池 3箇所 農道 L=723m 区画整理 A=12.4ha 農業集落排水路 L=1,228m</td> <td>用排水路 L=200m 農道 L=650m</td> <td>用排水路 L=1,759m 農道 L=500m 農業集落排水路 L=394m 鳥獣害防止施設 L=2,300m</td> </tr> <tr> <td>事業費 1,613 百万円</td> <td>44 百万円</td> <td>389 百万円</td> </tr> </tbody> </table>									令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	現計画	用排水路 L=2,780m 農業用ため池 3箇所 農道 L=1,500m 区画整理 A=21.7ha 農業集落排水路 L=1,600m	用排水路 L=340m 農道 L=180m 区画整理 A=2.7ha 農業集落排水路 L=200m	用排水路 L=350m 農道 L=200m 区画整理 A=2.7ha 農業集落排水路 L=200m	事業費 1,980 百万円	220 百万円	354 百万円	変更計画	用排水路 L=1,095m 農業用ため池 3箇所 農道 L=723m 区画整理 A=12.4ha 農業集落排水路 L=1,228m	用排水路 L=200m 農道 L=650m	用排水路 L=1,759m 農道 L=500m 農業集落排水路 L=394m 鳥獣害防止施設 L=2,300m	事業費 1,613 百万円	44 百万円	389 百万円										
	令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降																																
現計画	用排水路 L=2,780m 農業用ため池 3箇所 農道 L=1,500m 区画整理 A=21.7ha 農業集落排水路 L=1,600m	用排水路 L=340m 農道 L=180m 区画整理 A=2.7ha 農業集落排水路 L=200m	用排水路 L=350m 農道 L=200m 区画整理 A=2.7ha 農業集落排水路 L=200m																																
	事業費 1,980 百万円	220 百万円	354 百万円																																
変更計画	用排水路 L=1,095m 農業用ため池 3箇所 農道 L=723m 区画整理 A=12.4ha 農業集落排水路 L=1,228m	用排水路 L=200m 農道 L=650m	用排水路 L=1,759m 農道 L=500m 農業集落排水路 L=394m 鳥獣害防止施設 L=2,300m																																
	事業費 1,613 百万円	44 百万円	389 百万円																																
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。																																			



## 2.評価シート(1)

### (1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

#### ①地域・住民の意向状況

- 用排水路、農道等の未着手路線については、各路線とも施設の老朽化が著しく、早期整備が求められている。
- 区画整理については、計画されている基盤整備の必要性は十分理解しつつも、平成25年に品種登録された県オリジナル品種「夢みずき」への改植に伴い、現在成園化している桃の収穫樹の伐採を多く伴う箇所については、本計画期間内での実施は難しいとの意見も多い。

#### ②産業・経済情勢

- 労務費・建設資材費の上昇

#### ③国等の方針

- なし

#### ④上位計画・関連事業計画等

- やまなし農業基本計画（令和6年1月策定）

#### ⑤自然環境条件等

- 近年シカ・イノシシによる鳥獣被害が新たに発生していることから、鳥獣害防止施設の整備が地区内の新たな課題となっている。

#### ⑥その他

- なし

### (2) 評価時点の費用対効果分析

項目	着手時点	変更計画時点
総事業費	2,100 百万円	2,046 百万円
工期	H27～R6	H27～R10
評価基準年	H27	R7
費用	1,830 百万円	2,401 百万円
建設費	1,830 百万円	2,401 百万円
関連事業費		
便益	2,370 百万円	2,972 百万円
作物生産効果	1,150 百万円	1,181 百万円
災害防止効果	500 百万円	765 百万円
走行経費節減効果	340 百万円	687 百万円
その他※	380 百万円	339 百万円
B/C	1.3	1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、品質向上効果、維持管理費節減効果、国産農産物安定供給効果、営農経費節減効果

### (3) これまでの計画変更等の概要

- 物価高騰や労務単価の上昇を要因とする事業費の増
- 区画整理において、換地計画の合意形成に日数を要したため、計画期間を令和8年度まで延期した。

	当初	現計画
(事業費)	2,100百万円	→ 2,554百万円
(計画期間)	2年延長	

## 評価シート（2）

### （4）事業進捗状況及び見込み

#### ①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）86.1%→（実績）65.5%→（変更計画）81.0%

#### ②進捗率実績が計画と相違している理由

区画整理において、換地計画の検討や地権者との調整に日数を要したことによる。

#### ③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
用排水施設	60 百万円 減	一部区間について他事業で整備したことによる事業量の減。
ため池	55 百万円 減	実施に向けた詳細調査及び設計の結果、ため池の護岸工の一部を現況利用した工法変更によるコスト削減に伴う事業費の減
区画整理	279 百万円 減	桃の栽培地として、安定的に生産されている箇所については、現計画から除外することによる事業費及び事業量の減。
集落排水路	160 百万円 減	一部区間について他事業で整備したことによる事業量の減。
鳥獣害防止施設	70 百万円 増	近年、動物の行動範囲に変化が生じ、鳥獣被害が新たな課題として深刻になっていることから、鳥獣害防止施設整備の追加に伴う事業費及び事業量の増
合 計	484 百万円 減	

#### ④事業期間の変更理由及び進捗予定

新たな地区課題である鳥獣害防止施設整備の新設に加え、残路線の一部箇所で難航していた合意形成が概ね完了し、関係者との調整が整ったことから、計画的かつ効率的な実施に努め、令和10年度の完了を予定している。

#### ⑤今後の事業執行における留意点

なし

#### （5）環境負荷等への配慮

なし

#### （6）コスト縮減の可能性

なし

#### （7）代替案立案の可能性

なし

#### （8）所管部の今後の方針 繼続・見直し・継続・その他（ ）

##### （理由）

残された路線については、地域からの整備要望も強く、安定的な用水の確保、農作業の効率化による産地の維持や、鳥獣害防止による営農意欲の向上に不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し令和10年度の完了を予定している。

また、今回実施を見合わせる路線については、引き続き地域や関係機関と調整していく。

### ○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

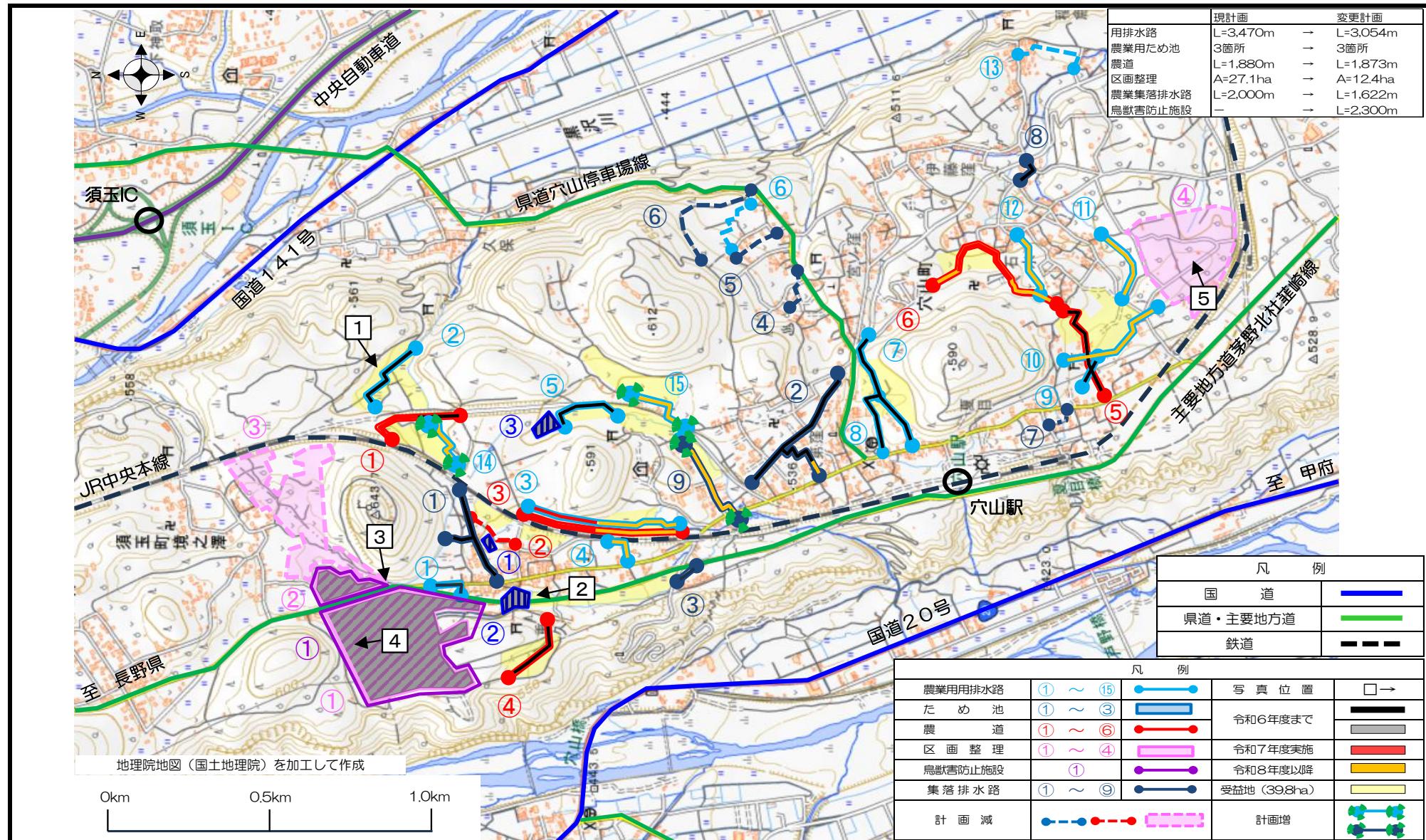
単位：%

年度	*H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10
現	計画	2.2	4.3	8.6	12.9	21.5	30.1	38.8	51.7	64.6	77.5	86.1	100.0	
	実績	3.5	6.5	7.8	14.9	25.0	34.2	44.0	52.3	56.9	63.7	65.5		
変更計画											81.0	89.0	97.1	100.0

\*事業着手年度又は評価年度

\*R7年度の実績は見込み

### 3.添付資料シート (1)



### 3.添付資料シート (2)



1【用排水路】

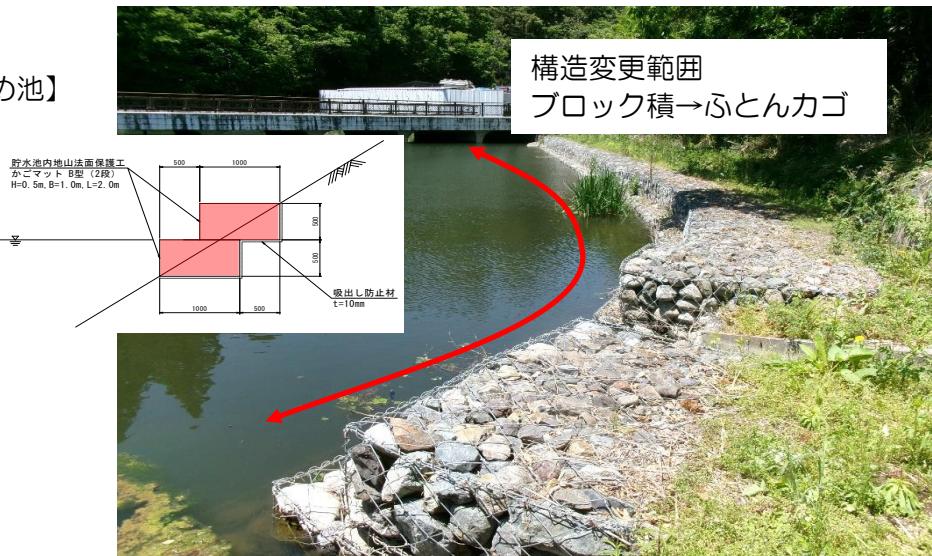


現況は土水路のため亀裂や隙間の発生による漏水や雑草による損失が大きく、用水の供給が不安定な状態で、営農に支障を来していた。

用水が安定供給され、農作物の品質が向上するとともに、維持管理に要する労力が軽減されている。



2【ため池】

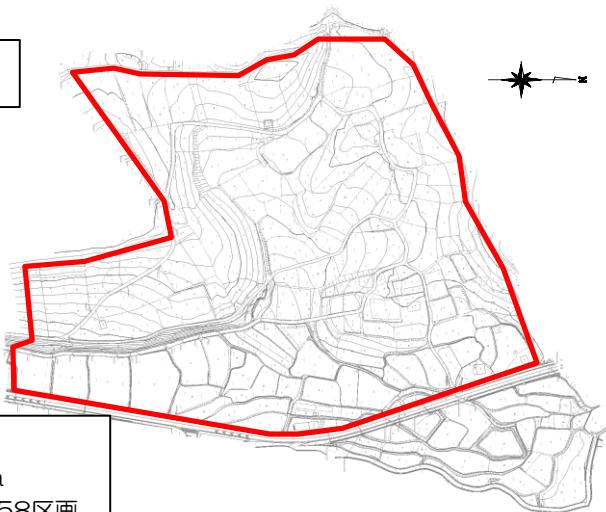


詳細調査及び設計の結果、護岸工の一部について既設利用が可能であったことと、土留工の一部について、現況山側からの湧水が確認され、ふとんカゴによる施工に工法を変更し、ため池の機能を確保した。

### 3.添付資料シート (3)

#### ③【区画整理】

着手前



工区面積  
A=11.5ha  
区画数：158区画

現況は、水稻、野菜、果樹と様々な営農がなされていたが、狭小で不整形な区画だったことから、耕作放棄地の増加を招いていた。



整備状況



区画整理工事を実施したことにより、耕作放棄地が解消され、営農状況が改善したこと、新たな農業法人が担い手として参入するなど、農業生産力が向上している。

#### ④【鳥獣害防止施設】

被害状況



近年、野生鳥獣の行動範囲が変化し、新たにイノシシ・シカによる食害等の被害が発生している。

特に、区画整理箇所の水稻耕作地の周辺での被害が顕著で、その対策が望まれている。

対策状況



区画整理後の農地では、自作の鳥獣害防止柵を設置するなどの対応に追われており、鳥獣害防止施設の整備が急務となっている。

5【区画整理】



現在成園化している桃の収穫樹の伐採を多く伴う箇所については、本計画期間内での実施は難しいとの意見も多いことから、現計画から除外する。

現在の品種から、県オリジナル品種「夢みずき」への改植が進んでいる農地。



大玉で糖度が高く非常にジューシー。名前の由来が「夢のようにみずみずしい美味しいモモ」をイメージしている。

4. 年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進歩率 (%)
H27	88,000	設計業務一式	4.3
H28	77,000	設計業務一式	8.1
H29	33,000	設計業務一式、用排水路L=581m、集落排水路L=1,081m	9.7
H30	178,200	設計業務一式、ため池1箇所	18.4
R1	257,400	設計業務一式、用排水路L=243m、農道L=333m、集落排水路L=60m	31.0
R2	231,000	設計業務一式、ため池2箇所	42.3
R3	249,700	設計業務一式、区画整理A=3.2ha	54.5
R4	209,000	設計業務一式、区画整理A=8.0ha	64.7
R5	115,500	設計業務一式、農道L=243m、区画整理A=1.2ha、集落排水路L=87m	70.3
R6	173,800	設計業務一式、用排水路L=271m、農道L=140m	78.8
R7	44,000	設計業務一式、用排水路L=200m、農道L=650m	81.0
R8	165,000	設計業務一式、用排水路L=700m、農道L=350m、集落排水路L=150m	89.0
R9	165,000	設計業務一式 用排水路L=600m、農道L=250m、鳥獣害防止施設L=1300m、集落排水路L=150m	97.1
R10	59,400	用排水路L=459m、鳥獣害防止施設L=1000m、集落排水路L=94m	100.0
合計	2,046,000		